

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 土曜日グループ(要旨)		
日時	平成19年2月3日(土) 午後7時~9時	場所	市役所東館7階 701会議室
出席者	土曜日グループ 5名(片山、金子、永田、森下、山本、)		
	職員 1名(武林)		
内 容			
<p>1. 論点についての議論</p> <p>(1) 論点1~6について各自が考えてきた内容について発表</p> <p>(2) 論点を絞らずに意見交換</p> <p>担い手作りについて</p> <p>子育てなどのテーマごとに関心がある人が手を挙げられるような仕組みがあってもいいのではないか。手を挙げた人たちが組織作りできるようなことも考えないと。</p> <p>自治会などの地縁系組織とNPOなどが接点を持てるような仕組みが必要なのではないか。</p> <p>個人と行政の関係を考えるのは難しい。やはり団体と行政という形になるように思う。ただ、既存の団体は新しい人は入りにくい。また、団体さえつくれば問題が解決するかと言えばそうではない。常に人が集まれるようにする必要がある。</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が住んでいるまちを知るための活動や情報交換の場づくり。参加者は対等な関係である必要がある。 ・市内在住の有識者等に参画してもらい、講演会等を開催すれば人が集まってくるように思う。 <p>説明責任について</p> <p>年度始めに計画を公表して、年度終わりに結果の公表をする必要があるのではないか。それがアカウンタビリティ(説明責任)。みんなで結果を評価しあう仕組みが必要。情報共有に繋がる。</p> <p>市民の定義について</p> <p>西宮市に生活する全ての人。何らかの恩恵を受ける人も含めるといような表現も必要。</p> <p>市内在住者。市内に勤務。市内に在学を含めるのは個人的には疑問。事業所は個人事業や法人。NPOを含めるかどうかは疑問。</p>			

市民、事業者、行政について

市民が良かれと思っても事業者にとっては良くないという相反することがあると思う。利害関係の調整をする仕組みも考える必要はあるかもしれない。

地域市民協議会について

宝塚市の事例紹介

- ・各小学校区にコミュニティを作っている。
- ・コミュニティには各部会がある。
- ・既存の自治会や社協などとの関係は対立しているところもあるが、新興住宅地のようなところでは、自治会の会長等とコミュニティの会長が意見交換をしている。
- ・市がコミュニティを推進している。
- ・宝塚市の中山台のコミュニティは全国的にも有名。
- ・地域に住んでいるコンサルタント会社やまちづくり会社の人が経験等を活かしてまちづくりを行っている。

市民参画の対象について

まちづくりに関する計画は、全てとは言わないが、市民参画条例に基づいて、市民参画をしなければならないような文言も必要ではないか。

2. 今後の予定

- | | | | |
|------------|-------|----------|---------------|
| (1) 全体会議 | 平成19年 | 2月24日(土) | 午後6時30分～9時30分 |
| (2) 運営委員会 | 平成19年 | 2月10日(土) | 午後6時～8時 |
| (3) グループ会議 | 平成19年 | 3月3日(土) | 午後7時～9時 |